

# もんし 聞思

発行所 光山寺  
〒758-0063 萩市大字山田4553  
TEL (0838) 22-1370  
http://kousanji.net

同じことをするにも  
「してあげている」と思うのと、  
「させてもらう」と思うのでは、  
大変な隔たりがある。  
寺川幽芳

## 頼依志のごなど要法奉告伝

ご門徒の皆様には既にご案内の通り、「第二十五代専如門主伝灯奉告法要、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要・記念行事」のご懇志依頼が始まりました。

平成二十六年六月に、本願寺の第二十五代の宗主・専如門主が法統を継承され(一般寺院でいう住職継職)、昨年一月のご本山の御正忌報恩講においては、伝灯奉告法要について「このたびのご法要が、親鸞聖人によつて明らかにされた阿弥陀如来の救いのはたらきに依りながら、時代の変化に対応する宗門の新たな第一歩として意義を持つものでありたいと思います。宗門では、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年に向けて新たな長期計画が策定されます。皆様の積極的な協力とご参画を心からお願いいたします」と述べられ、宗門総合振興計画が計画されました。

私たちは後の世代に、親鸞聖人のみ教えを伝えていかなければなりません。また、念仏の道場である本願寺を確かに相続していかなければなりません。この度の伝灯奉告法要並びに親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要・記念行事を推進するために、ご懇志依頼がご門徒各位にご本山よりまいっております。つきましては、光山寺の全ご門徒の皆様や、広く有縁の方々にご依頼させていただくこととなりました。皆様には出費多端の折柄、まことに迷惑とは存じますが、何卒この大事業にご理解を賜り、お一人でも多くの方々にご懇志をいただきたく重ねてお願い申し上げます。合掌



### 別院にて帰敬式

山口別院が現在の小郡の地に移転して三十周年を迎えます。この度の別院永代経法要にあわせての三十周年記念法要では帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯た一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則としてご本山でご門主によつて執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます。受式者全員、椅子で帰敬式を受式できるので、この縁に是非受式ください。日時は六月七日(火曜日)午後一時より受付。午後二時執行。真加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名生年月日住所を必ず五月七日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が日程の関係で締め切られております。ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日2回行われています。(本年は、十月からの伝灯報告法要が開催されますので、詳しくは問い合わせください。)

### 熊本地震の復興支援募金のお知らせ

この度の熊本地震により被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。二〇一六(平成二八)年四月十四日に熊本県益城町を震源とするマグニチュード六・五の地震が発生、また、十六日に熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード七・三の地震が発生し、熊本県を中心に九州各地方においても甚大な被害をもたらしました。宗派においては、一日も早い復興を願い、緊急に「たすけあい運動募金」において災害義援金を募ることとし、標記義援金の受付を開始いたしました。つきましては、募金にご協力いただきますよう、左記の通りお願い申し上げます。



受付口座番号 郵便振替 01000-4-69957  
加入者名: たすけあい募金

※通信欄に「熊本地震」とご記入ください。  
受付期間 二〇一六(平成二八)年四月十六日(土)から当分の間  
問い合わせ先 浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部入災害対策担当  
TEL 075-371-5181 FAX 075-365-6199

※光山寺本堂焼香台横にも仏教婦人会によつて募金箱を設置いたしました。みなさまの温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

### 光山寺行事案内

平成二十八年度前半の光山寺行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

#### ★光山寺法要

五月一・二日(日・月曜) 春季永代経法要(講師、岡智徳師)  
九月二六・二七日(月・火曜) 秋季永代経法要(講師、名古屋宗師)

#### ★山口教区・萩組

五月十六日(月曜) 萩組初参式(萩幼稚園)  
五月二二日(土曜) 萩組総代会総会・研修会(真覚寺)  
六月一〇日(金曜) 山口別院、永代経法要(萩組参拝日)  
六月 日(金曜) 萩組仏教壮年会総会・研修会(萬福寺)  
六月十二日(日曜) 萩組仏教婦人会大会(萩幼稚園)  
七月二二・二四日(土・日曜) 萩組子供一泊合宿(萩幼稚園)  
七月三一日(日曜) 萩組間信徒の集い(萩幼稚園)

#### ★子供会(土曜学校)

五月二二日(土曜)・六月一八日(土曜)・七月一六日(土曜)  
八月 六日(土曜) ※原則第三土曜家族の日に開催。

#### ★仏教青年会

子供会と合同開催(庫裏)

#### ★仏教壮年会

六月二二日(日曜) 午後七時 仏教壮年会総会(本堂)  
五月十五日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式  
五月二九日(日曜) 午後一時半 仏教婦人会総会  
六月二三日(木曜) 午前八時半 清掃・莊嚴・リハーサル

#### ★総代会

五月一五日(日曜) 午後四時(本堂) 総会

#### ★護持会

五月一五日(日曜) 午後二時(本堂)

#### ★お経の練習会

(旧、礼讃の夕べ) 午後八時(本堂)  
五月十四日(土曜)・六月十一日(土曜)・七月九日(土曜)  
八月 六日(土曜)・九月十七日(土曜)・十月八日(土曜)

#### ★親鸞聖人讃仰会

午後八時(本堂)  
六月二十日(月曜)・八月八日(月曜)

#### ★雅楽練習会

午後七時半(庫裏) 五月二二日(日曜)  
※コーラスの練習日程についてはお問い合わせください。

# 募集・お知らせ



## ●お経の練習会(旧・礼讃の夕)五月十四日(土曜日)午後八時より今年も!

「正信念仏偈」の練習をしてきましたお経の練習会も今年で二十六年目となります。どなたでも参加できるお経の練習会として、本年も五月から十月までの月一度の練習(原則第二土曜日の午後八時)で、お経本(聖典)を中心に日常の基本的な修行の一通りを練習したいと思えます。お経本をお持ちでない方は光山寺にて用意しますので参加当日にお申し出ください。最近新しい参加の方も増えつつあります。特に壮年の方、はじめて参加の方は大歓迎です。(申し込は不要無料)

## ●光山寺初参式 五月十五日(日曜)午前九時半

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。今年も五月十五日光山寺本堂にて開催されます。生後三年くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。昨今子供の減少が激しいところですが、どうか親戚等に対象となるお子さんがいらつしやいましたら是非お申し込み、ご参加ください。尚、お子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けています。また、萩組の初参式は五月十六日に萩幼稚園にて開催予定です。

## ●親鸞聖人鑽仰会 会員募集!

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を四月よりスタートしましたので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず、広く親鸞聖人のみ教えを勉強する学習会です。年会費は二千円で二ヶ月に一回の開催。本年度は、正信念仏偈を正しく学ぶことを中心に学習しています。浄土真宗聖典註釈版が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。尚、開催は偶数月第三月曜日午後八時より(次回六月二十日)となりますのでご注意ください。(詳細は別紙にて申し込みください。)

## ●萩組門信徒の集い(記念法座) 今年は萩幼稚園にて開催

前ご門主さまの萩組ご巡教を記念して毎年開催される萩組門信徒の集い(記念法座)は、本年度は萩幼稚園を会場に、七月三十一日(日曜日)の午後一時半から開催されます。本年は、中央仏教学院の前学院長、白川晴顕先生を迎えてご法話頂く予定です。昨年度の萩組の取り組みであった「葬送儀礼のあり方」を踏まえて、お話される予定です。真夏の暑い時期ではありませんが、萩幼稚園では冷房等も完備されています。多くの皆様にご参加いただきたいので、お誘い合わせてご参加ください。



## ■除夜会で富くじ抽選会を盛大に開催

大晦日恒例の除夜会では、昨年末も富くじが実施されました。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されるが、平成二六年より鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。昨年も九十名を超える参加者があり、富くじ景品を得た人も二十人と、盛況にて終了しました。景品出品経費に際しては総代会と仏教青年会より、また福引き抽選会では仏教壮年会員にご協力頂きました。

## ■念仏者列伝「讃岐の庄松」

庄松(しようま、寛政十一年(一七九九年)~明治四年(一八七一年))は、鈴木大拙によつて世に紹介され、「浄土系信者の中で特に信仰に厚く徳行に富んでいる」(『日本の霊性』)と、庄松の言行を評価し、以後、現代に至るまで浄土真宗の門徒を中心に広く知られている。

庄松は、讃岐国大内郡土居村(現 香川県東かがわ市土居)に、谷口清七の子として生まれた。小作農の家であつたので貧しく、縄ないや草履づくりなどもし、その間にも子守や寺男としても働いていたと伝えられている。生涯独身を通し、僅かな田畑を耕して生涯を終えた。この庄松には次のような住職さんとの逸話が残されている。

住職「うちの御堂のご本尊は生きてござらうか」

庄松「生きておられるとも、生きておられるとも」

住職「生きてあつしやるにすれば、物をいわれぬではないか」

庄松「ご本尊様がものを仰せられたら、お前らは一時もここに生きておられぬぞ」

と、庄松がご本尊・阿弥陀仏を崇敬するさまは、ほんとうに生けるブツダに対するようであつたといひます。どこかの家をたずねると、まず一番にご本尊さまを礼拝し、それから家の人に挨拶をするのが常でしたが、仏前のお花が枯れていたり、ほこりが積もつたりすると「ご本尊様が、やせてござる」と言つて悲しそうな表情をしたそうです。

しかし、お掃除がゆきとどき、香華のたえぬお仏壇にお参りすると「このご本尊様は、よく肥えていらつしやる」と大よろこびしたといひます。

また、ある夏の日のことです。田の草取りに田圃に行つていた庄松さん、昼休みに我が家に戻るなり、お仏壇からご本尊様をはずしてきて、真新しい青竹の先にゆわえつけ、涼しい風のそよぐ軒下に持ち出し、お念仏をしていたそうです。それを見たお同行が、どうしたのかとたずねると、「やれやれ、親様も涼しかろう」といつたそうです。汗だくになつて田圃から帰つてきて、阿弥陀さまに「帰つてまいりました」とごあいさつしたが、お仏壇のなかで、いかに暑苦しさうだった。そこでご本尊様にも、涼しい風にあたつてもらおうと思つたのでしよう。思いつけば実行するのが、庄松さんの性分であつたらしいのです。

## ■仏教豆辞典

『仏教用語辞典一〇〇』(本願寺出版社より) 「三昧」 「読書三昧」や「ゴルフ三昧」などと、日常使われているように、一つの事に熱中して他の事に心が向かないことを「X×三昧」と呼んでいます。この三昧は、インドの語「サマーデー」を音訳した語で、精神を一つの事に集中して乱さないことをいい、仏道修行上、大切な仏教語なのです。

親鸞聖人は、比叡山で修行しておられた頃、常行道で常行三昧をおさめられました。これは、伝教大師の説かれた四種三昧の一つで、阿弥陀仏のまわりを九十日間めぐり歩いて、不断念仏をおさめる修行です。

このように、三昧は、精神集中という意味でひんばんに使われる言葉なので、一般にも浸透していったのでしよう。しかし、同じ三昧でも、「念仏三昧」は、ありがたいことですが、「ぜいたく三昧」や「刃物三昧」「道楽三昧」などはちやうと困りますね。

## ■志願

学校の入学試験のシーズンも終わると、学校によっては、志願者数・合格者数、入学者数などが発表されます。志願は、今では学校の入学試験に欠かせない言葉となっていますが、もとは仏教語なのです。

仏教では、文字通り志して願うことで、心の底から深く願うことをいいます。「無量寿経」といってお経の中に「世自在王仏、その志願の深広なることを知らしめして」とあるように、大事な願ひのときに用いられている語なのです。

ですから、本来の意味からいうと、すべり止めのために志願するのは、困りますね。